ブラジル兵庫県事務所山下亮氏日本ラチーノ学院訪問

2013 年 12 月 16 日
学移連 OB 会西日本支部支部長
引地 正之

12 月 12 日（木）学移連 OB 会西日本支部のメンバーは、訪日中のブラジル兵庫県事務所長山下 亮氏（在ブラジル・パラナ州クリチーバ、第六次派遣団団長、大阪府立大卒)、兵庫県国際交流会職員と共に滋賀県近江八幡市の「日本ラチーノ学院」を訪問して同学院児童・生徒の授業風景を見学した後、同学院関係者と活発な意見交換をしました。

当日、日本ラチーノ学院を訪問した方々、同学院関係者は次の通りです。
① 兵庫県ブラジル事務所長：山下 亮（学移連 OB）
② 公益財団法人兵庫県国際交流会多文化共生課長：辻 恵、課長補佐：永田 展之
③ 学移連 OB 会西日本支部：引地 正之、山添 洋子、谷村 昭二
④ 日本ラチーノ学院理事長：中川 美子、理事：中川 宣一
校長：カイオ上村、副校長：タチアナ 亀谷（敬称略）





午前 11 時、同学院の保育児・幼稚園児の授業から、小学校・中学校授業の様子を参観して、中学 2 年生の日本語の授業を参観しました。同校はポルトガル語で、ブラジル教育省カリキュラムによって授業が行われています。山下氏は積極的に児童・生徒に話しかけられ、特に高学年生徒に対してはブラジル語と日本語の両方を使える環境にあるのだからしっかり勉強してバイリンガルになればブラジルに戻っても、日本にいてもそれを生かした職業に就くことができるしブラジルに進出した日本企業は両国語に堪能な人材を求めていること、また、日本語が不得手というハンディーを持ちながら日本社会で生きていくには、技術を持つこと、一例として、大工、それも滋賀や京都では宮大工などという職業があること、そういう将来の目標を持つようにと生徒たちに伝えました。

授業参観の後、学院側とミーティングを行い、西日本支部引地支部長が学移連 OB 会の概略、及びラチーノ学院支援の現状、山下氏は、兵庫県ブラジル事務所が関西広域事務所に昇格し、彼のブラジルでの活動は、兵庫県のみならず関西一円に広がること、又、日本から帰国した日系ブラジル人の生活の現状などについて話されました。中川理事長は、ラチーノ学院の現状や在日日系ブラジル人の現状について説明され、兵庫県国際交流会辻課長・永田課長補佐は、同県国際交流協会の業務・役割などについて説明されました。







さらに参加された学移連 OB 会西日本支部のメンバーも同学院生徒への日本語教育補助のボランティア活動を通しての感想や意見を述べました。出席者に共通した認識は、

① 日系ブラジル人子弟の日本語のレベルの低さ、又反対に日本生まれの日系ブラジル人子弟が、ポルトガル（ブラジル語？どちらの統一？）語が出来ない子供が多い等の問題点を話しあいました。

② 同学院は年齢別のクラス編成で授業を行っており、生徒のポルトガル語の授業はある程度学力が同じレベルであるが、日本語能力の格差が激しく円滑に授業が進まないことが多々ある。即ち、日本語能力の高い生徒は授業がつまらない印象を持ち、反対に能力の低い生徒は授業についていけない等問題があり、日本語教師の悩みの種である。学院は、生徒の日本語能力別のクラス編成を試みたが、時間割の問題、日本語教師の確保の問題などがあり、未だ解決に至らない今後の課題である。

③ 山下氏の事務所が関西広域連合になるのに従い、もしラチーノ学院の生徒がブラジルのパラナ州に帰国する場合、ラチーノ学院から山下氏に連絡を入れて、クリチーバで帰国後のケアーをしたい。

④ ラチーノ学院はブラジル教育省や文科省から認可されているにも拘らず、学院経営に

対する支援が無く、山下氏は、ブラジルに帰ってから同国政府に働きかけるとのことであった。又、教科書を無償で提供できるように検討したい。

⑤ 日本では、特殊技術を持った職人が少なくなっているので、このような技術を習得すればたとえ言葉が多少できなくても職業としてやっていけることなどを説明された。このことは、谷村氏の職業・技術（琴やピアノ・エレクトーンなど楽器の修理の仕事をしている）にも云えることであり、そのようなことも検討したい。

⑥ 我々の地道な支援活動が、同学院に受け入れられ、少しずつ成果が出てきているように思われる。今後は、地域社会と生徒の結びつきを計るよう、例えば滋賀県ボーイスカウトとラチーノ学院の交流を深めるとか･･･

⑦ 今年から京都外国語大学ブラジルポルトガル語学科・日本語学科の学生が彼ら自身の勉強も兼ねてラチーノ学院を訪れ、生徒に対する日本語学習の支援を行っていることは支援の輪が更に広がり、有意義なことである。

⑧ 我々学移連 OB 会の同学院に対する支援活動が少しずつ広がりつつあり、又成果も出て来ている。今春は、同学院高校卒業生が二人京都外国語専門学校に入学し、一人は京都外国語短期大学に入学した。今年の卒業生の内 5 人が来春京都外国語専門学校への入学を希望している。

⑨ ミーティングの後、我々は同学院の提供してくれたフェジョン・パスタの昼食に舌鼓を打ち楽しんだ。

⑩ ラチーノ学院の卒業式は、12 月 22 日（日）滋賀県湖南市立公民館で開催される。

学移連 OB 会西日本支部の活動として、今後は京都外国語大学ブラジルポルトガル語学科・日本語学科の学生と協力し合うことは勿論のこと、地域社会との連携を含め今後も日本ラチーノ学院生徒の日本語補助ボランティア活動を続けて行く所存である。



―完―